

地域ぐるみの 取り組み

事例 1 坂下（さかのす）自治会の自主防災

【取り組み概要】	項目	地域ぐるみの取り組み
	箇所	北安曇郡 池田町 会染 渋田見
	主な取り組み	現地視察、講演会、 倒木除去、除伐、下草刈り など
【地域の概要】	<ul style="list-style-type: none">○ 中山山地の扇状地の裾野、北アルプスの雄大な山容を一望できる景観に恵まれた地に位置し、この地に移り住む人は近年増加している。○ 中山山地から流下する黒沢では、過去から度々豪雨による土砂災害が発生しており、一帯は保安林に指定され、昭和 49 年から治山施設が施工されている。○ 近年では、平成 16 年台風 23 号災、平成 23 年 5 月豪雨災等により、土砂が下流に流出して住宅地内が広範囲に亘って冠水するなど、被害が頻発している。	
【活動経緯・内容】	<ul style="list-style-type: none">○ 坂下自治会では、平成 15 年に「坂下地区防災会」を発足させ、防災訓練を行うなど避難体制を整備してきた。○ 溪流荒廃の顕在化等を受け、平成 22 年から公共治山事業を導入し、ソフト対策として「災害に強い森林づくり講演会」（信州大学北原教授）を開催したところ、住民約 100 名の参加があった。○ 平成 23 年に県の治山担当者らの説明による現地視察を開催し、地域で出来る活動を促したところ、会が独自に黒沢の倒木除去や、溪流内の立木の健全化のための除伐等の活動を開始した。○ 直後に発生した平成 23 年 5 月豪雨災により再び大きな被害を受けたため、平成 24 年度からは再び公共治山事業を導入した。まら、地区住民を対象にした黒沢の現地視察を行い、沢の現況を確認するとともに情報の共有化を図った。○ その後も、地区住民独自で黒沢の倒木除去や、作業道の草刈り等を実施し、地区全体で防災意識を高める取り組みを継続して行っている。	
【その他】	<ul style="list-style-type: none">○ 平成 24 年度に「長野県ふるさとの森林づくり賞」を受賞。	

【写真・資料等】



① 現地視察の開催



② 災害に強い森林づくり講演会の開催



③ 谷止工堆砂敷の倒木整理



④ 谷止工堆砂敷の倒木整理



⑤ 山に通じる作業道の草刈り

【現地視察での工夫点】

- ・説明用に紙芝居を作成
- ・事前に案内ルートの藪刈を実施

【心掛けたこと】

- ・丁寧に説明する
- ・専門用語を使わない
- ・事前の踏査をしっかり行う
- ・治山事業の実施にこだわらない
- ・知りえる情報を伝える
- ・地域で出来ることを促す

事例2 神宮寺100年の森づくり

【取り組み概要】	項目	地域ぐるみの取り組み
	箇所	諏訪市 中洲 神宮寺
	主な取り組み	100年の森林づくり構想策定、棚入れ、 溪畔林造成、ハザードマップ作成 など
【地域の概要】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 守屋山の麓に位置し、諏訪大社（上社本宮）のある地区である。 ○ 地区の森林の多くを所有するのは神宮寺生産森林組合であり、その他は細分化された個人有林、諏訪大社の神体山から成る。 ○ 平成18年7月豪雨災害より、区内を流れる滝沢川で土石流が発生したため、災害関連緊急治山事業等により治山ダムが整備されている。平成21年にも神体山で山腹崩壊が発生し、大社境内に土砂が流出する事態となった。 	
【活動経緯・内容】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 災害直後から森林への関心が高まり、区と生産森林組合が先頭に立って、「災害に強い森林づくり勉強会」の開催や各種取り組みを始めた。 ○ 平成19年に林野庁補助事業である「100年の森林づくり」加速化推進事業を活用して、自らがランドデザインを描く「神宮寺100年の森林づくり構想」を策定し、整備方針や活動方針をまとめた。 ○ 平成21年に、活動を地域全体で加速化させるため、生産森林組合、区民、諏訪大社、区で構成する「神宮寺里山整備促進委員会」を発足させた。 ○ 地域に伝わる伝統的な防災施設である「棚入れ」（間伐材を使った簡易な床固工）を40年ぶりに復活させ、住民参加により毎年施工している。 ○ 災害を受けて設置した谷止工周辺において、生産森林組合や住民等がケヤキの植樹とシカ食害防止のための防護ネットを設置した。 ○ CS立体図を活用して危険箇所の抽出と現地調査を行い、地域独自のハザードマップを作成した（区内の全戸（約400戸）に配布）。 ○ その他の地域主体の活動例 <ul style="list-style-type: none"> ・「平成のシシ垣」づくり（イノシシ等による農業被害対策） ・個人有林の集約化と間伐の実施（森林税活用） ・セイコエフツ株式会社、諏訪大社との「森林の里親契約」 ・あずまや建設、案内板の設置、歴史散策マップの作成、遊歩道の整備 ・子供の森林への呼び込み（ツリクラミング体験、カブトムシ採り等） 	
【その他】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成23年度に「長野県ふるさとの森林づくり賞」を受賞。平成24年度には、第51回全国林業経営推奨行事で「大日本山林会会長賞」を受賞。 	

【写真・資料等】



① 災害を受けて設置した谷止工の見学会



② 集約化に向けた現地踏査



③ 「平成のシシ垣」づくり



④ 溪畔林造成と獣害防護柵設置



⑤ 伝統工法「棚入れ」の復活



⑥ CS 立体図を活用したハザードマップ

【取り組みが活発である要因】

- ・地域のキーパーソンが存在
- ・積極的な情報提供（林務課全係関与）
- ・外部の力の導入（人・金）
- ・ベースにある実効性あるゾーニング

事例3 諏訪形区を災害から守る委員会

【取り組み概要】	項目	地域ぐるみの取り組み
	箇所	伊那市 西春近 諏訪形
	主な取り組み	育苗・植樹、巡視路の整備、倒木除去、 不要木伐採、信州大学との連携 など
【地域の概要】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 諏訪形地区は、中央アルプスを背景とした里山～集落に位置する。 ○ 平成18年7月豪雨災により発生した土石流で、人家や道路等に被害を受けた。過去に遡ると、昭和58年、平成11年と幾度となく災害が発生しており、日頃から区民が自然災害に関心を持っている。 ○ 平成18年の災害を受け、貝付沢では山腹工、谷止工群が整備された。 	
【活動経緯・内容】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成18年の災害経験を契機に、自主防災の意識が高まり、平成19年に区組織として「諏訪形区を災害から守る委員会」を組織し、「4度目の災害は起こさない」を合言葉に各種の活動を始めている。 ○ 学識経験者から知識・技術の提供を受けながら、平成21年から「保育ブロック」を使用したコナラやケヤキの育苗に取り組み、育てた苗木は治山施工地内に植樹し、住民の手による災害に強い森林づくりを実践している。 ○ 平成23年には、区・信州大学・県地方事務所と協働で森林内を巡視したり、山に関心を持ってもらう方法について意見交換を行った。 ○ 現在も信州大学・県・市等と連携をとりながら、治山事業計画への関与、安全な巡視路の整備、不要木の伐採、倒木の除去作業等を行っている。 ○ 伊那市西春近支所が定期的に開催する「里山セミナー」（講師：県、市、信州大学等）に積極的に参加し（これまでに11回開催）、防災・減災に留まらず、獣害防除や未利用木材の活用など、地域の里山が抱える諸問題に対して自らの力による解決に向けて、知識・技術を吸収している。 ○ 活動状況について、FacebookやYouTubeを活用するなどして広く情報を発信しており、住民の意識の向上や地域活性化にも寄与している。 	
【その他】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成23年度に「伊那市地域づくり大賞」の奨励賞を受賞。平成26年度に「長野県ふるさとの森林づくり賞」を受賞。 ○ 諏訪形地区を含む西春近地域は、信州大学の「中山間地域プロジェクト」のフィールドとして位置付けられている。 	

【写真・資料等】



① 苗木（保育ブロック）の育成



② 治山施工地への植樹



③ 防災に関する勉強会



④ 学識経験者による「里山セミナー」



⑤ 森林の巡視・点検



⑥ 開設する道の確認・測量（Facebook 投稿写真より）

事例4 花岡区・湊財産区と山の子守役「西山里山の会」

【取り組み概要】	項目	地域ぐるみの取り組み
	箇所	岡谷市 湊 花岡
	主な取り組み	植樹祭の開催、境界確認、山地防災パトロール、地字図作成 など
【地域の概要】	<p>○ 平成18年7月豪雨災害により7名が亡くなられ、15棟の家屋が全半壊するなどの甚大な被害が発生した。これを受けて、治山事業・砂防事業の連携によるハード対策が進んでいる。</p> <p>○ 森林の荒廃ぶりや生物の気配がない静けさに危機感を抱き、平成18年から区民の意識を山に向けるために、各家庭でコナラの苗を育てて山に植樹する「どんぐりの一世帯一鉢運動」を始めた矢先の災害経験であった。</p>	
【活動経緯・内容】	<p>○ 災害の経験を契機に、「山の手入れを怠ってきたツケが回ってきた」として、防災体制の見直しや森林整備に取り組むための体制づくりなど、自分たちで出来る事の検討を重ね、森林所有者の取りまとめ、勉強会、区民への啓発など、各種取り組みを始めた。</p> <p>○ 湊小学校及び南部中学校の児童・生徒も、総合学習として森林や災害に関する学習やどんぐりの苗木育成、間伐体験等に取り組んだ。</p> <p>○ 平成19年秋に植樹祭を開催し、区民を中心に約200名が参加して、ケヤキ・コナラ等約1,600本を治山事業施工地やその周辺に植樹した。平成20年以降も継続しており、100～150名が参加している。</p> <p>○ 平成19年以降、森林所有者の参加とGPSの活用により個人有林(約50ha、関係者約300名)の境界確認を実施した。</p> <p>○ 湊財産区は、平成21年に長野滋賀県人会と、平成23年に京セラ(株)岡谷工場と「森林の里親契約」を結び、外部の力の支援を得ている。</p> <p>○ 平成24年に、取り組みを将来に亘って組織的に継続・継承していくために「西山里山の会」(会員52名)を発足させた。山地防災パトロールを中心に、啓発活動や森林の集約化等に取り組んでいる。(会員5名が山地防災ヘルパーに認定(住民認定は県内初))</p> <p>○ 平成25年に、区内の場所や地域をより詳細に特定できる昔ながらの字名を取りまとめた地図「花岡・地字図」を作製し、山地防災パトロールへの活用や、若い世代に継承する資料とした。</p>	

【その他】

- 平成 22 年度に「長野県ふるさとの森林づくり賞」を受賞。平成 23 年度には、第 50 回全国林業経営推奨行事で「林野庁長官賞」を受賞。
- 幾多の視察を全国から受け入れたり講演に招かれるなど、機会あるごとに「災害に強い森林づくり」の重要性などを全国に向けて発信している。
- 防災上重要な森林は治山事業による森林整備を実施し、その他の傾斜の緩い森林においては森林経営計画を策定して、森林作業道開設や搬出間伐にも積極的に取り組んでいる。

【写真・資料等】



① 区主催の植樹祭



② 区主催の植樹祭での展示説明



③ 森林の境界確認



④ 小学生の総合学習（成果発表会の様子）



⑤ 住民が自発的に行う森林の維持管理



- 森林整備の推進・窓口
- 山地防災情報の窓口
- 災害の伝承
- 地域ぐるみで森林に関わる啓発活動・情報発信

事例5 石杭地区のクリスマスリース作り

【取り組み概要】	項目	地域ぐるみの取り組み
	箇所	千曲市 倉科 石杭
	主な取り組み	ツル切り、クリスマスリース作り、 現地見学会 など
【地域の概要】	<ul style="list-style-type: none">○ 石杭地区では、平成8年の林野火災と松くい虫被害により大半のアカマツが失われたことから、近年は落石被害が頻発し、平成19年1月には直径60cmの落石が下方工場を直撃する被害も発生している。○ 地域では大きな危機意識を抱いており、落石対策として施設整備と併せて森林整備への期待と関心も高まっている。	
【活動経緯・内容】	<ul style="list-style-type: none">○ 平成20年に住宅地背後の森林荒廃と落石災害への対策のために治山事業が導入されたことを契機に、森林についての正しい知識の習得や整備の必要性について学び伝えていく機運が高まった。○ 平成21年に公民館において、県地方事務所が「災害に強い森林づくり学習会」開催したことがきっかけとなり、12月には意欲ある住民約50名が集まり、「災害に強い森林づくり体験」（ツル切り、歩道整備等）を実施した。○ その後、ツル切り体験には地域の子供達も大勢参加するようになり（総勢約100名）、沢山集まったツルを活用して、公民館でクリスマスリース作りを行った。このクリスマスリース作りは毎年の地域の恒例行事となっている。○ 平成24年からは、「災害に強い森林づくり」についてより理解を得るために現地見学会を開催し、工事で設置したモノレールの乗車体験、学習会、パネル展示等を行うなど、住民・区・県とのコミュニケーションをさらに活発化させている。	
【その他】		

【写真・資料等】



① 各種取り組みのきっかけとなった学習会



② 災害に強い森林づくり体験（ツル切り）



③ ツルを活用したクリスマスリース作り



④ ツルを活用したクリスマスリース作り



⑤ 現地見学会&モノレール体験



⑥ 現地見学会と併せて実施した学習会

事例 6 半過自治会の治山委員会

【取り組み概要】	項 目	地域ぐるみの取り組み
	箇 所	上田市 小泉 下半過
	主な取り組み	植樹、森林の調査・測定、 秋祭りでの普及啓発 など
【地域の概要】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 半過（はんが）地区では、近年、国道バイパスの整備が進められるなど今後の発展が期待される地域である。 ○ 昭和 58 年と平成 16 年の 2 度にわたる土石流災害を経験し、治山事業による復旧工事が実施されてきた。 ○ 森林所有者や自治会役員は、森林についてある程度の関心はあったものの、直接山に入ったり森林整備の必要性を知る機会が無かった。 	
【活動経緯・内容】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 相次ぐ土砂災害への対策と、住民の森林への関心度向上のために、平成 21 年度から新たに治山事業を導入することとなり、計画段階から県・市・半過自治会とで現地検討や勉強会を重ねた。 ○ 平成 21 年に自治会は下部組織として、森林を防災・減災の視点で点検するための「半過治山委員会」を組織し、より機動的な間伐や治山事業計画の推進、地権者との交渉、災害時の被害情報把握等に取り組んでいる。また、委員の任期は 3 年間とし、自治会役員の通常の任期である 1 年より長く設定し、長期間を要する活動も進めやすいようにしている。 ○ これまで、国有林治山施工地の隣接地で植樹活動を行ったり、委員自らが森林の樹高や胸高直径の測定を行い、森林の現状や整備の必要性を体験的に理解する取り組みなどを行った。 ○ 各種の取り組み成果は地域のイベントである秋祭りで広報するなど、地域住民への啓発活動も行っている。県も秋祭りに「災害に強い森林づくり」に係るブースを出展し、来場者への普及啓発に取り組んでいる。 ○ 獣害対策としてのニホンジカの食肉利用にも取り組み、道の駅の食堂メニューに定着させるための商品化へ向けた検討も進めている。 	
【その他】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成 22 年度に「長野県ふるさとの森林づくり賞」を受賞。 	

【写真・資料等】



① 現地学習会の開催



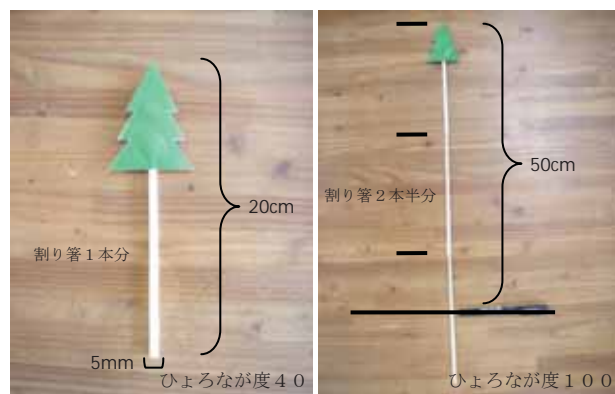
② 国有林治山の隣接地における植樹活動



③ 住民が行う森林調査・測定



④ 秋祭りの「災害に強い森林づくり」ブース



⑤ 学習会や現地調査等で活用したツール

【説明ツールの工夫】

森林の現状に対する理解度を向上させるために、密度管理図を分かりやすい表に変換した「森林の疲労度判定表」、形状比の高さを実感しやすいように割り箸を用いた「木の模型」など、説明ツールが工夫されている。

事例7 松本市浅間温泉地区（町会・木の絆会）

【取り組み概要】	項目	地域ぐるみの取り組み
	箇所	松本市 本郷 浅間温泉
	主な取り組み	植樹、巡視路の整備、倒木除去、 山地防災マップ作成 など
【地域の概要】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 浅間温泉地区は、松本市を代表する観光地で人口密集地帯である。 ○ 過去に市街地に流下する3つの沢から大雨により土石流等が発生し、被災した経緯がある。 ○ 平成14年に延焼面積170haに及ぶ大規模な山林火災が発生し、災害関連緊急治山事業で山腹工（落石防護柵）、谷止工が整備された。 ○ 3つの沢の直下となる浅間温泉第1・第2町会では過去の土石流災害から、自然災害への危機感が強く、防災に関して関心が高い。 ○ 浅間温泉では地元有志による「木の絆会」が発足しており、浅間温泉上の大音寺山への遊歩道整備を主体に活動している。 	
【活動経緯・内容】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「木の絆会」は平成14年の山林火災後の大音寺山を地域住民や観光客が親しんで登れるよう、既存の歩道を遊歩道として整備している。今後は治山事業の巡視路としても位置づけし、遊歩道整備を支援していく。 ○ 「木の絆会」は遊歩道沿いの山林火災後の広葉樹林の整備をするとともに、平成26年には県地方事務所と協同し地域住民とともに植樹活動を行った。 ○ 平成26年には県地方事務所、林業総合センターと森林内を巡視し、大音寺山に自生するコナラを活かした森林整備手法について勉強会を行った。 ○ 平成26年には3つの沢の直下となる浅間温泉第1・第2町会住民を対象に工事完成見学会を兼ねて山地防災講習会を実施した。さらに、「浅間温泉地区の防災を考える懇談会」を開催し、空中写真や赤色立体図を活用した「山地防災マップ（仮称）」を作成した。 	
【その他】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成27年には山地防災マップを配布、活用して地域住民も交え山地災害防災訓練等の啓発活動を計画している。 ○ 住民から赤色立体図は分かりやすいと興味をもたれ、「ここだよ。崩れたの！」「この地図、貰ってくよ！」などと大好評であった。 	

【写真・資料等】



① 木の絆会との森林整備勉強会



② 遊歩道沿いの植樹イベント



③ 遊歩道の整備・点検



④ 浅間温泉町会の山地防災講習会



⑤ 浅間温泉町会での山地防災マップ懇談会



⑥ 浅間温泉地区の山地防災マップ